冬期道路の安全対策と道路防雪

Safety Measures of a Winter Road and Snow Hazard Control in Road

講座を始めるにあたり

In Beginning This Lecture

道路研究委員会委員長 村 國 誠
Makoto Murakuni

「道路研究委員会」では、委員の方々を対象にアンケート方式による意識調査を実施し、研究要求度合いの高い課題を本誌講座で取り上げ、また、大会時には講座内容をテーマにしたパネルディスカッションを企画実施してきました。これまで連載した講座は、「道路消融雪」（2002年1月号～10月号）と「冬期道路情報管理」（2003年1月号～7月号、なお、10月号では特集を組みました）です。

今回から始まる講座「冬期道路の安全対策と道路防雪」は、4回連載で、まず、1月号では、「凍結抑制舗装」を取り上げました。凍結抑制舗装の歴史と役割、種類と仕組みなどに加えて今後の動向と問題点までをまとめていただきました。豊富な参考文

献から凍結抑制舗装を分かりやすく解説した力作です。

2回目（4月号）では、「道路雪崩対策」を、3回目（7月号）では、「道路吹雪対策」を予定しています。さらに、4回目（10月号）では、「積雪寒冷地における道路付帯施設」というタイトルで、雪や氷によるいろいろな障害を考慮した道路付帯施設や設備を紹介します。積雪層の沈降力を考慮した耐雪型防護柵（ガードレール、ガードケーブル）、着雪対策を施した標識、冠雪対策を施した信号・標識・橋梁上部工、などの他、雪国ならではの諸施設についてその対策方法を解説します。